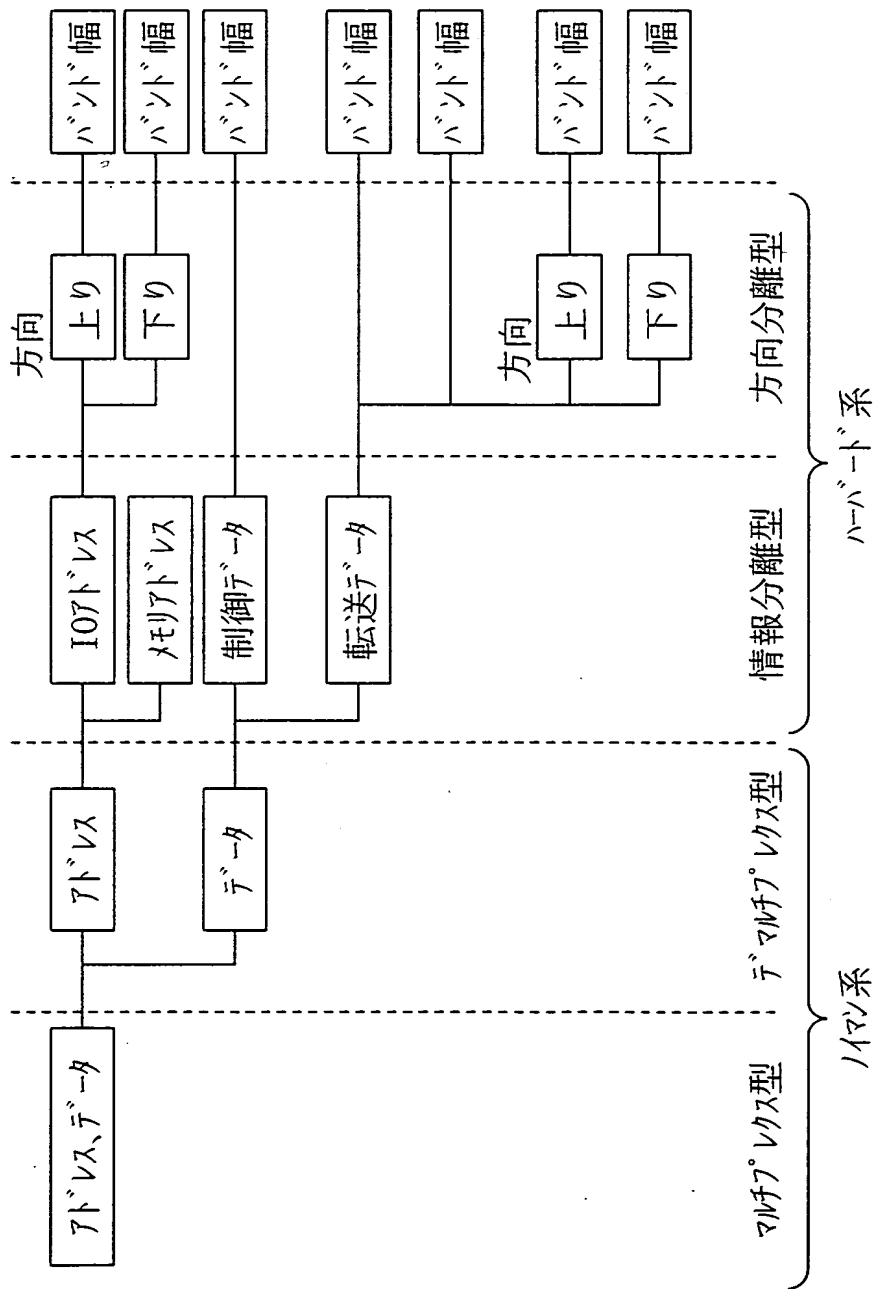
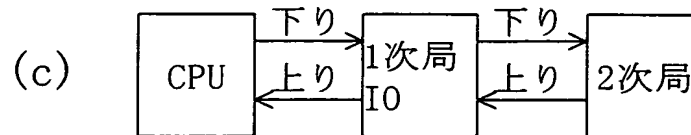
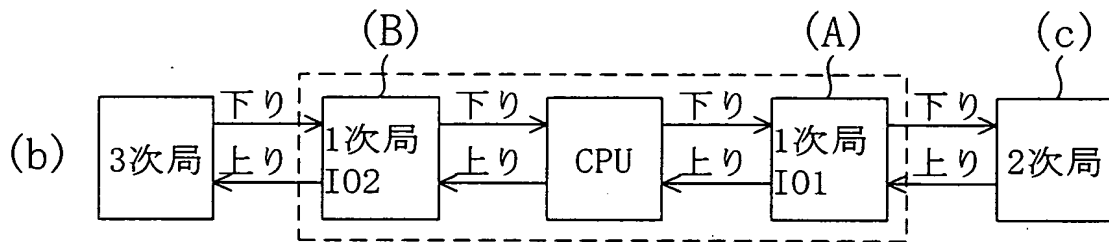
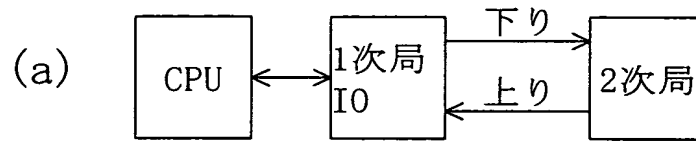
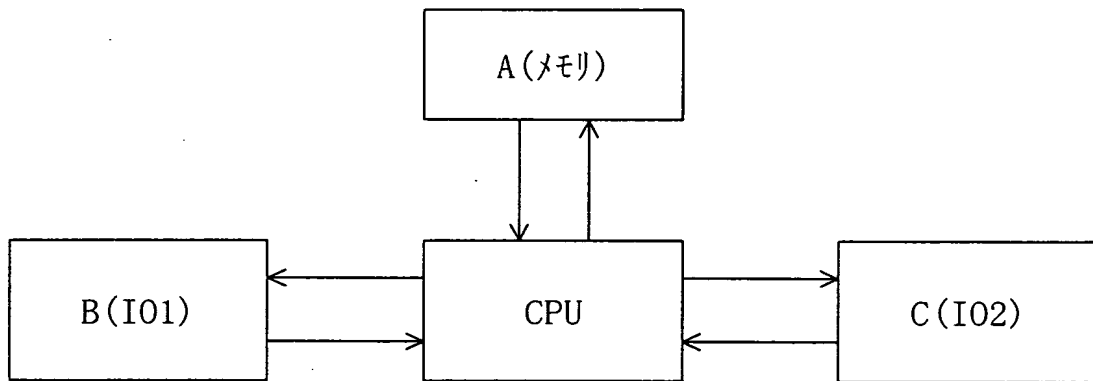


従来技術

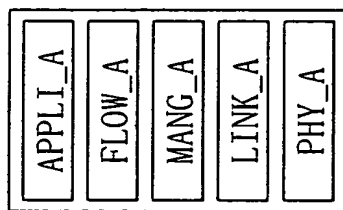






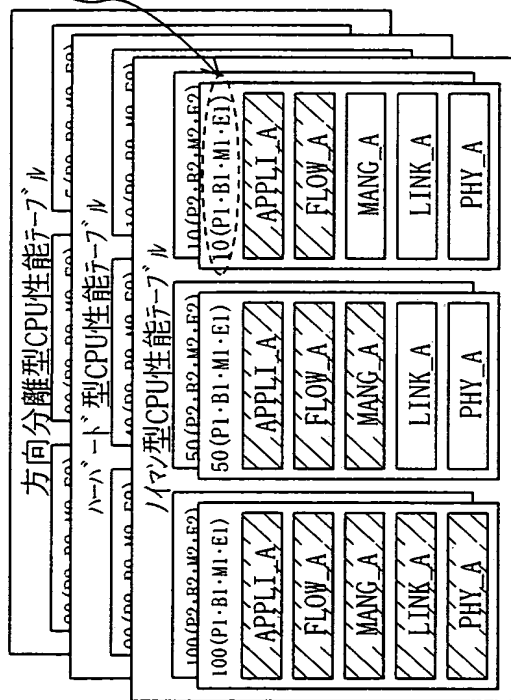
性能テーブル 性能指数 (性能係数、バス幅、命令量、メモリ量)

ライブラリA



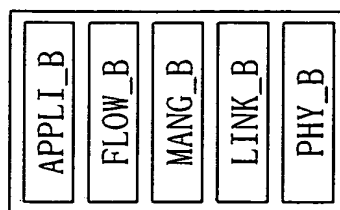
OS、デバイスに
依存しない仕様モデル

(a)

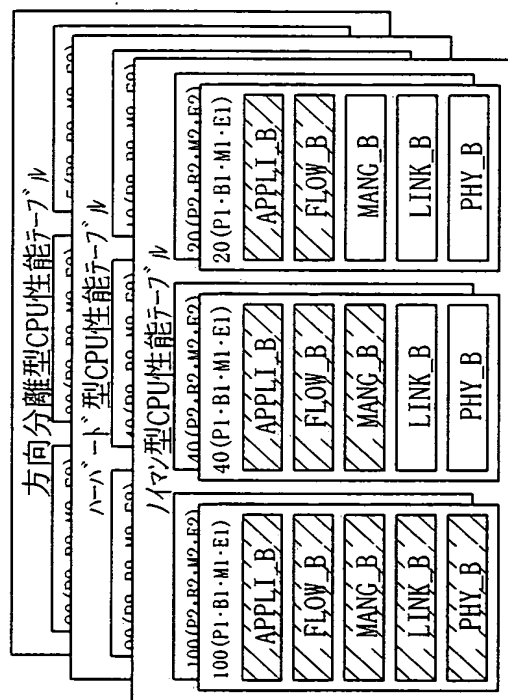


OS、デバイスに
依存しない動作モデル

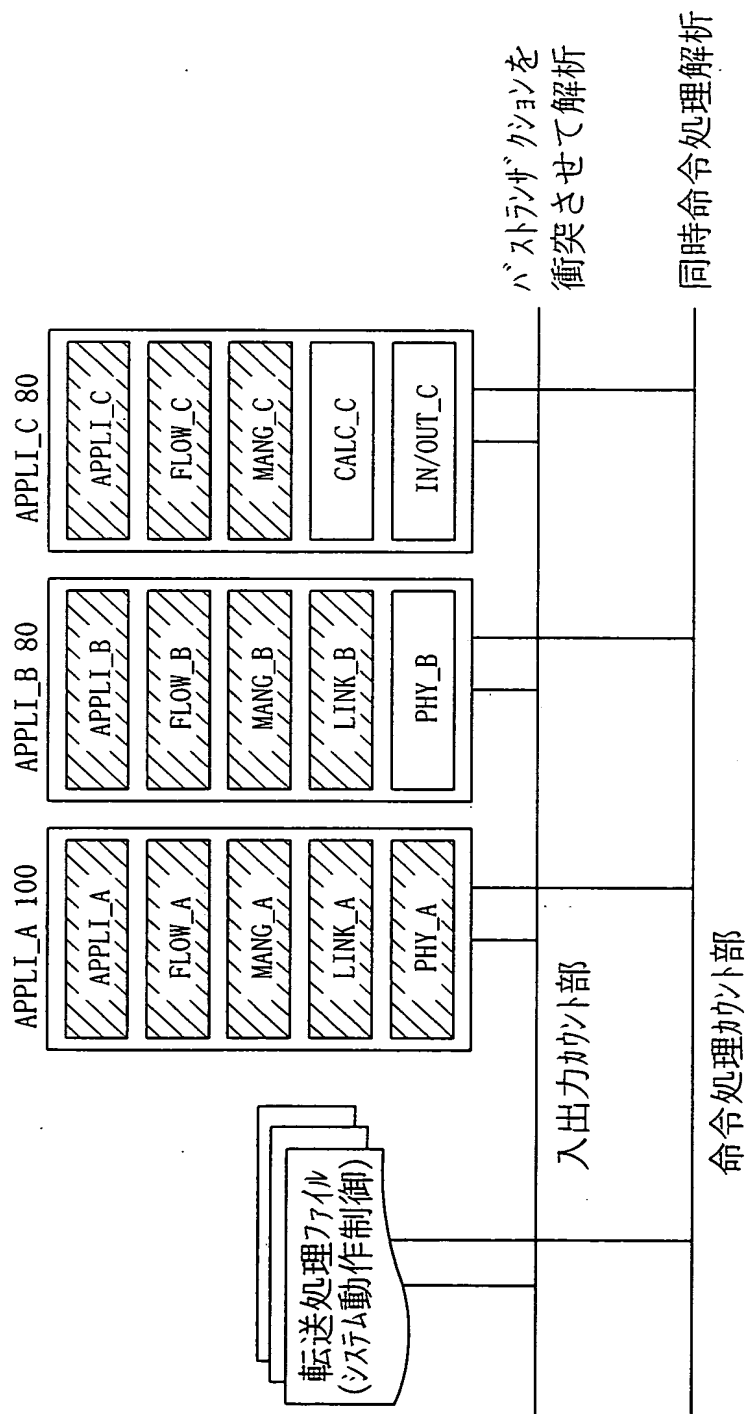
ライブラリB



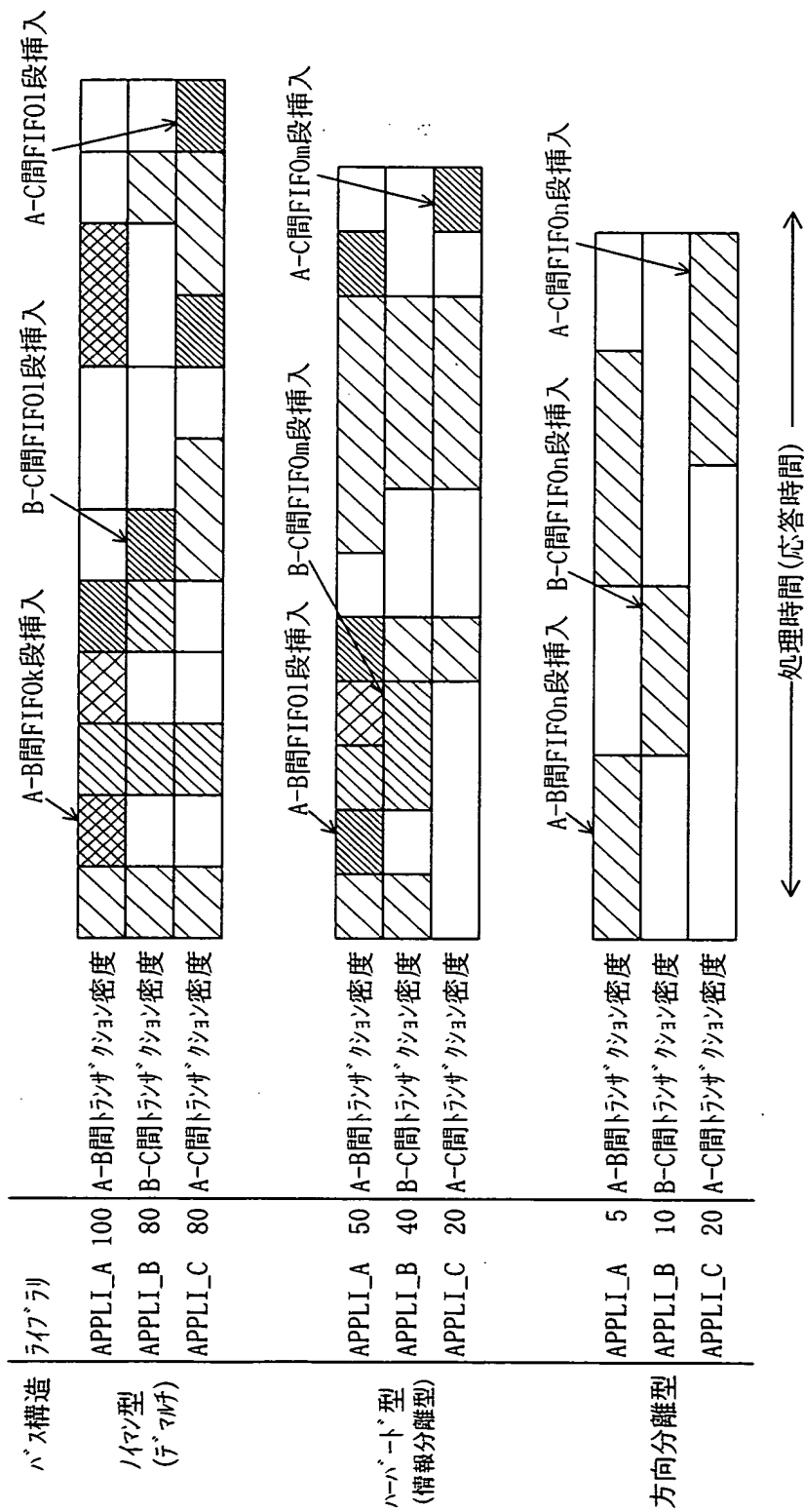
(b)



動作シミュレーション



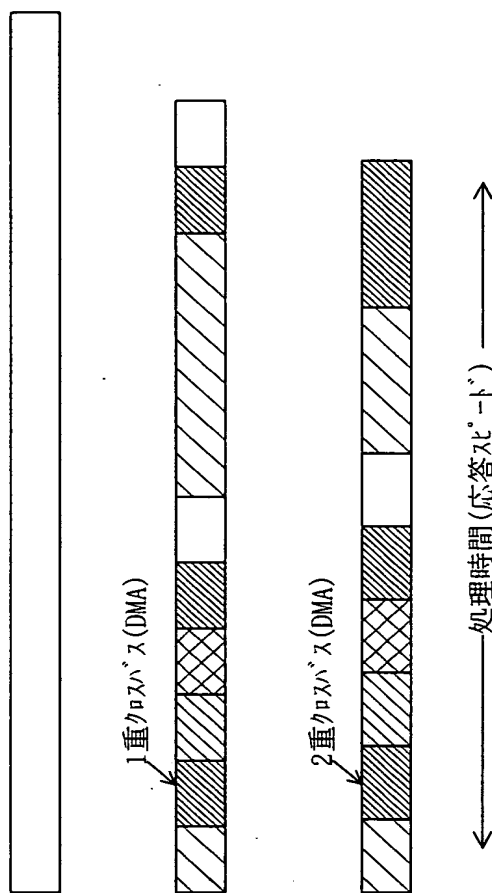
トランザクション解析

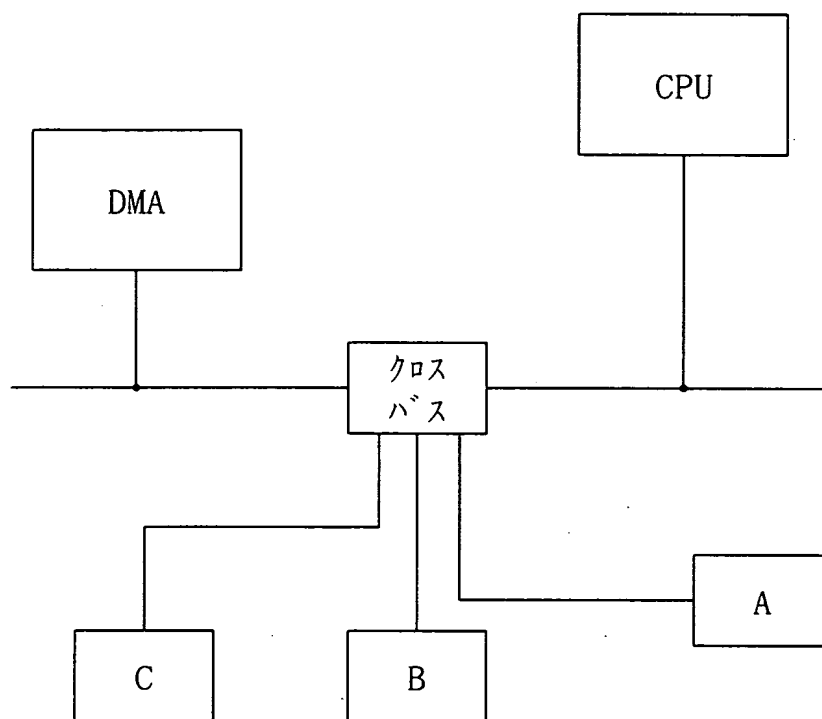


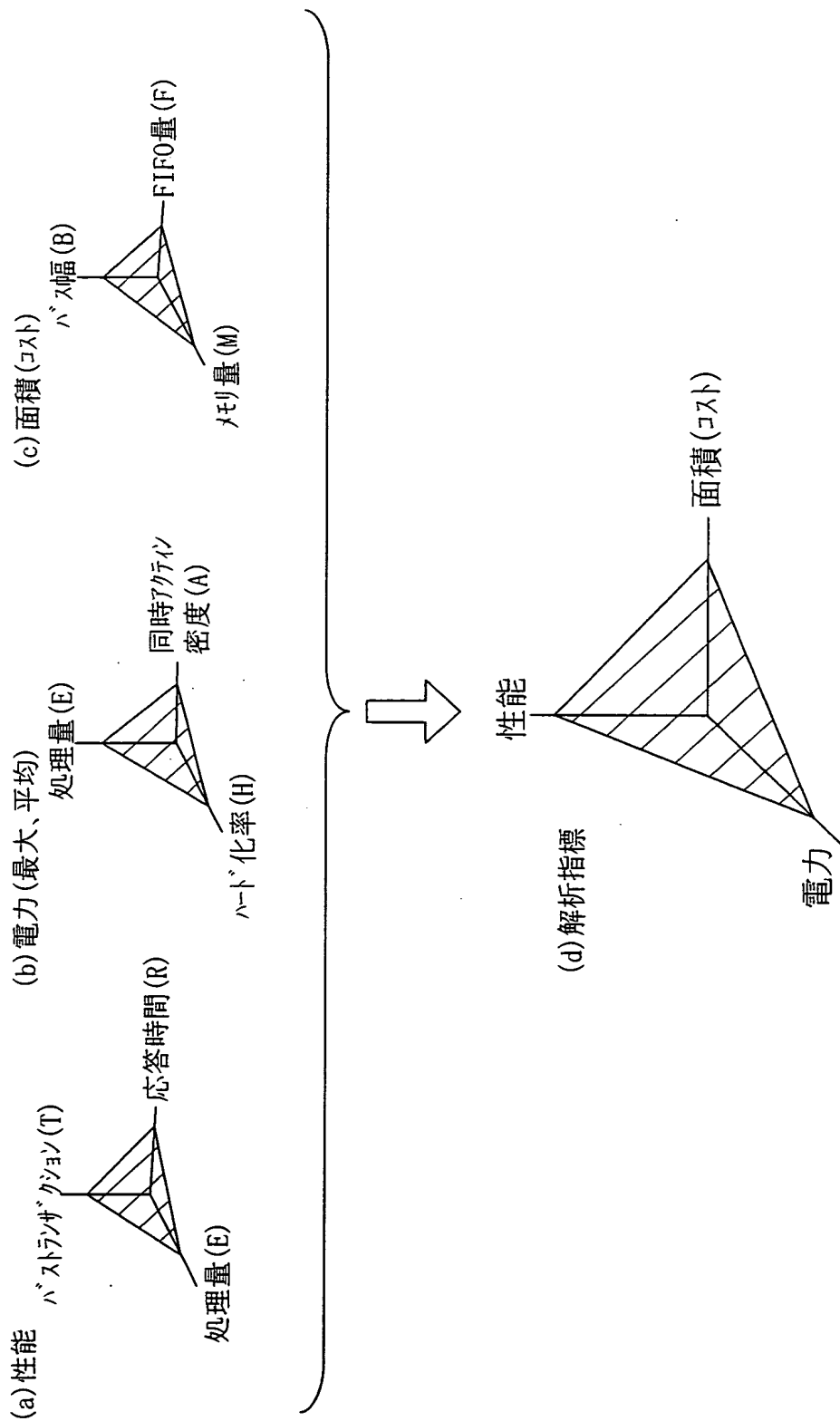
命令处理解析

同時命令處理密度

方向分離型	ハバ・ード型 (情報分離型)	ノイマン型 (デマルチ)	パイプ列
			APPLI_A 100
			APPLI_B 80
			APPLI_C 80
			APPLI_A 50
			APPLI_B 40
			APPLI_C 20
			APPLI_A 5
			APPLI_B 10
			APPLI_C 20







解析指標(重み付け指標)

(a) 性能指標の判断基準

応答時間: R	応答時間の性能影響係数: $1/x$
バ스트ランザクシヨ: T	バストランザクシヨの性能影響係数: mx
処理量: E	処理量の性能影響係数: nx
$Rl \times Tm \times En =$ 性能指数: x	
例) $1/x = 1/1s, m_x = 1/10回, n_x = 1/10MIPS$	

(b)電力指標の判断基準

平均(最大)処理量: Eav (Emx) 処理量の電力影響係数: ly
ハート化率: H ハート化率の電力影響係数: my
平均(最大)同時7マイブ`率: Anv 同時7マイブ`率の電力影響係数: ny

(Amx)

or Eav ly × Hmy × Aavnv = 平均電力指数 } · y
 Emx ly × Hmy × Amxnv = 最大電力指数 }

例) ly = 1/10MIPS, my = 1/20%, ny = 1/25%

(c) 面積指標の判断基準

メモリ量:M	メモリ量の面積影響係数: l_z
FIFO量:F	FIFO量の面積影響係数: m_z
バス幅:B	バス幅の面積影響係数: n_z
$Ml_z \times Fm_z \times Bn_z =$ 面積指数: z	
例) $l_z = 1/1kByte, m_z = 1/128byte, n_z = 1/16bit$	

(d) 解析指標の判断基準

性能指數 (性能) 性能指數的影響係數: a
電力指數 (電力) 電力指數的影響係數: b
面積指數 (面積) 面積指數的影響係數: c
 $ax + by + cz = \text{最適指數}$
例) $a = 0.5$, $b = 0.3$, $c = 0.2$

最適IF合成

